

# 旧赤松家だより

令和元年 6月 12日

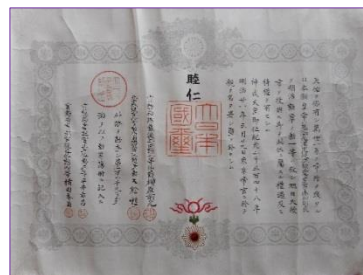


庭内のアジサイが見頃を迎えています。開花から日が経つごとに、徐々に変化する花色を楽しみながら、庭園散策はいかがでしょう。

5月1日、126代今上天皇誕生最初の儀式として、「皇位とともに伝わるべき由緒あるもの」である三種の神器（剣・玉・鏡）を受継ぐ「<sup>けんじ</sup>剣璽等承継の儀」が皇居宮殿・松の間にて執り行われました。三種の神器以外に受継がれたものとしては、天皇の印章である「<sup>こくじ</sup>国璽」と「<sup>ぎよじ</sup>天皇御璽」があります。いずれも現物を見ることはできませんが、旧赤松家記念館の展示室では、赤松則良が男爵の爵位を授与された際の「<sup>ぎよじ</sup>天皇御璽」が押印された【<sup>しやつき</sup>爵記】と、勲一等旭日大綬章受賞の際の「<sup>こくじ</sup>国璽」が押印された【<sup>くんき</sup>勲記】を見ることができます。また、勲章も展示していますので、来館の際にはぜひご覧になってください。



【爵記】



【勲記】

内蔵1階ギャラリーでは、12日から「写真愛好家」による『野鳥の写真展』を開催しています。野鳥の一瞬の動きを収めた写真をお楽しみください。

## 内蔵ギャラリーのご案内

### 『野鳥の写真展』

開催期間：6月12日(水)～6月25日(火)

\*休館日 6月17日(月)、24日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後1時まで)

入場料：無料

出展者：写真愛好家

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



<展示作品から>